

# 令和元年度

# 空知の研究活動

研修部長 岩見沢市立栗沢中学校  
校長 本川 朋 一

## 1. はじめに

空知校長会では、平成29年度からスタートした研究基本構想「第5次3か年計画」に基づいて共同研究活動に取り組んできた。今年度は、そのまとめの年となる。本年9月に岩見沢市において北海道中学校長会研究大会が開催されたため、管内の研究大会を行わないということで、メールを活用した研究交流や理事研修会、経営研究会等の内容の充実をもって第5次3か年計画の成果と課題をまとめることとした。管内105名の会員の力を合わせ、校長の指導力向上及び学校経営の充実、発展をめざし例年以上となるよう取組を推進してきた。



## 2. 研究計画

### (1) 研究推進の基本方針

- 基本主題を解明するために、研究の母体となる市町校長会や研究ブロックとの一層の連携強化に努める。
- 生涯学習社会における学校教育の役割を踏まえ、個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成のため、研修活動の活発化に努める。
- 上部校長会の研修活動に積極的に参加し、視野を広めるとともに、その成果の還流を通して校長としての職能向上に努める。
- 北海道教育推進計画や空知教育行政方針に基づき、学校教育の向上に資するよう努め、施策に対して積極的に取り組むとともに意見を反映する。
- 新学習指導要領の移行期を踏まえながら、各共同研究ブロックでの実践に努める。
- 特別支援教育、へき地・複式教育の充実・振興のため、協力体制の確立に努める。
- 管内教育関係団体との連携・協力を深め、団体加入促進や研究会参加喚起等の啓発活動の推進に努める。
- 研究基本構想「研究の手引き（第6次3か年計画）」を作成する。

### (2) 基本主題 <第5次3か年計画の3年次目>

『新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す学校教育の推進』

### (3) 研究領域とリーダーシップの視点

#### ○第1協議題「学校運営」

<主題> 創意と活力にあふれた組織・運営体制を築く学校経営

<重点研究領域> 教育改革を進める学校づくりと校長の在り方

<視点> ・新たな知を拓く資質・能力を育成する学校経営改革の推進

・学校づくり・人づくりを確かにする学校評価の工夫

○第2協議題「教育課程」

＜主題＞質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントと学校経営

＜重点研究領域＞豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

＜視点＞・新たな社会を築く人権感覚の育成

・豊かな心を育成するカリキュラム・マネジメント

○第3協議題「指導・育成」

＜主題＞教職員の資質向上を担う協働体制を構築する学校経営

＜重点研究領域＞（この協議題においては、年度別に提示せず、総合的に取り扱う）

＜視点＞・教職員としての資質や能力を高め、指導力と意識改革を促す研修の充実

・確かな展望と変化の時代に対応する、次代を担うミドルリーダーや管理職の  
発掘・育成

○第4協議題「危機管理」

＜主題＞学校の安全・安心の確保を目指す学校経営

＜重点研究領域＞いのちを守る安全教育の推進と校長の在り方

＜視点＞・自ら判断・行動できる子どもを育てる安全教育の推進

・地域との連携を図った意図的・計画的な取組の推進

○第5協議題「教育課題」

＜主題＞新たな教育課題に対応する学校経営

＜重点研究領域＞家庭・地域等との連携と異校種間接続の推進と校長の在り方

＜視点＞・家庭地域と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくり

・異校種間の学びの連続性を重視した取組の推進

(4) 具体的な研究推進内容

○全連小各種委員会調査への協力

○各種上部校長会の研究大会への参加

・第71回全国連合小学校長会研究協議会 秋田大会（参加6名）

・第62回北海道小学校長会教育研究 胆振・苫小牧大会（参加46名）

・第70回全日本中学校長会研究協議会 群馬・前橋大会（参加5名）

・第61回北海道中学校長会研究大会 空知・岩見沢大会（参加62名）

\*小中連携の話し合いを深めるため、道中研究大会の該当分科会に小学校長も  
参加（21名）した。

○各種研究団体・研修会への協力

・空知教育センター講座「学校経営」講師として

○研修だよりの発行

・年3回の発行

○研究紀要の発行（第5次3か年計画のまとめ）

○研究基本構想「研究の手引き（第6次3か年計画）」の作成

## 4. おわりに

11月に行われた市町研修担当者研究協議会において、第5次3か年計画のまとめとなる研究紀要を配布した。また、研究基本構想「研究の手引き（第6次3か年計画）案」のほか、新たな共同研究ブロック案や共同研究ブロック研究大会提言計画案等が承認され、空知校長会は次年度に向けてのスタートを切った。今後も、これまでに培ってきた研究のマネジメントサイクルに基づき、各共同研究ブロックの代表者を中心に計画的に研究を進め、空知の子どもたちのために、校長としての職能向上を図る研究活動の推進に努めて参りたい。